

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

II 地域の現状・課題

1 地域特性を活かした産業振興

- ・持続可能で安定的な農業経営を図るため、さらなる高品質化や低コスト・省力化に向けて、関係機関・団体が一体となり、各地域の条件や特性を活かした中で、継続的な取組を進めることが必要です。
- ・持続可能な農業・農村を支えるクリーン農業の安定した拡大を図るため、さらなる生産者へのフォローアップと消費者等へのPRが必要です。
- ・自給飼料主体の草地型酪農等を推進するため、良質な自給飼料の生産拡大と、衛生的な飼養管理の徹底等による生産性の向上が必要です。
- ・新規就農者を確保するため、地域や農業を紹介する積極的なPR活動を継続的に行っていくとともに、研修会の開催等による農業の担い手のスキルアップ（底上げ）を実施していくことが必要です。
- ・農産物を安定的に生産し所得の確保を図るため、有害鳥獣の被害対策強化が求められています。
- ・人工林資源が利用期を迎えていることから、森林認証を含めた適切な森林整備による持続可能な森林管理と、搬出される地域材（森林認証材等）の安定的な供給による森林資源の循環利用を着実に進める必要があります。
- ・水産資源の回復・増大や水域環境の保全を図るため、水産資源の持続的な利用に向けた適正な資源管理や栽培漁業の推進、深刻な漁業被害をもたらしている海獣被害対策の強化が求められています。
- ・中小・小規模企業は人手不足や後継者難などに直面していることから、地域の人材確保・定着を図るため、業界、行政、教育機関等の地域関係機関が連携した取組を更に推進していく必要があります。
- ・食のブランド化を促進するため、地域食材の特性を活かした商品の開発や磨き上げ、販路拡大に向けたプロモーションの強化のほか、食クラスター活動の推進及び食クラスター活動に携わる人材の育成が必要とされています。
- ・頻発する災害から地域を守る建設産業の経営力の強化と技術をつなぐ担い手の確保・育成を間断なく進めていく必要があります。

2 多様な魅力あふれる観光の振興

- ・宿泊や交通など観光関連産業における人材の確保・育成、観光DXの推進、さらには観光客の移動の利便性向上など、受入体制の充実を図っていくことが重要です。
- ・道内外、海外の観光客や旅行会社等に対し道北の観光情報を効果的に発信することが必要です。
- ・交流人口の拡大に向け、観光客の移動を支える航空路などの交通ネットワークの充実・強化のほか、サイクルツーリズムといった広域周遊観光のための仕組みづくりが必要です。

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

II 地域の現状・課題

3 豊かな自然環境との調和と、安全・安心な地域づくり

- ・環境保全意識の維持・高揚を図るためには、地元の自然に親しむ機会を創出するなど、取組を継続・実施していくとともに、高山植物の盗掘防止を目的とした効果的な監視体制を構築する必要があります。また、登山道の協働管理のためには、引き続き人材を育成していく必要があります。
- ・脱炭素型の地域づくりに向け、化石燃料の代替による二酸化炭素の排出を抑制するためには、木質バイオマスの安定的な供給や新エネルギー利用の推進など、引き続き関係者との情報共有や連携した取組が必要です。
- ・賦存するエネルギーの種別や量は地域ごとに異なることから、その地域の特色を生かした取組を進めることが必要です。また、多様化・高度化する新エネルギー導入や利用に係る相談に対応するためには、知識の習得や情報の共有・発信など、地域が連携した取組が必要です。
- ・二次医療圏における広域的な医療と介護の連携や医療従事者の地域偏在の解消が必要です。
- ・防災体制の強化等に当たっては、継続的な関係機関との連携体制（公助体制）の構築や、地域住民に対する啓発活動を通じた自助共助の意識づくりが必要です。
- ・地方移住への関心が高まっていることを踏まえ、「ちょっと暮らし」といった短期的な移住をはじめ、U・Iターンの促進、ワーケーションの推進や移住先での就労機会の確保のほか、地域おこし協力隊の確保・定着、テレワーク環境の整備など、日々の生活と仕事に関連した多様な取組を進める必要があります。
- ・野生鳥獣や海獣による被害のさらなる低減に向けて、担い手確保等による捕獲体制の強化や、効果的な捕獲手法の確立が必要です。

4 離島地域の振興

- ・全道的に見て、特に離島における漁業者（漁業組合員）の減少が顕著であり、引き続き地域の関係者が連携し、繁忙期における労働力不足への対応や新規漁業就業者の確保に取り組む必要があります。
- ・燃料価格の高騰といった厳しい条件下に置かれている交通事業者への継続的な支援とともに、資材費など物流コストの上昇に伴う島民生活への様々な影響について、離島町と連携し、対応策を検討する必要があります。
- ・アドベンチャートラベルに対する機運の高まりの中、広域周遊や体験観光を意識した離島ならではの観光資源の磨き上げとともに、回復基調にある観光需要を取り込むため、観光客の利便性向上や効果的な情報発信が必要です。

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

II 地域の現状・課題

5 生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成

- ・高規格道路をはじめ、地域の生活と産業を支える道路の整備や空港・港湾などの機能強化並びに鉄道など公共交通の維持を図るなど、地域にとって必要な交通ネットワークを構築していく必要があります。
- ・広域分散型の地域特性を有する道北地域においては、地域産業はもとより、教育・防災・医療・福祉など様々な分野においてICTやAI、ロボットなどの未来技術を活用し、住み慣れた地域で安全・安心でより快適かつ、一人一人に最適化された暮らしを可能とするデジタル化の推進に向け、情報通信基盤の整備を促進する必要があります。